

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点について、所見を伺うことです。



大谷 敏弥 議員

ホタテブランド湾宝について 4

● 議員の出席簿 ●

令和5年4月～令和5年6月

会議名	開催日	1 辻 (義)	2 橋 本	3 辻 (紀)	4 大 谷	5 北 川	6 高 森	7 長 崎	8 高 橋	9 村 川	10 柏 倉
第2回臨時会	5月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回臨時会	6月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回定例会	6月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月13日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	5月9日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月5日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月27日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務常任委員会	5月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月5日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業建設常任委員会	5月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月5日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会	5月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月5日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6月27日	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会広報編集 特別委員会	4月13日	—	○	—	—	○	—	○	○	—	—
	5月12日	—	○	○	—	—	○	—	—	○	—
	6月13日	—	○	○	—	—	○	—	—	○	—
まちづくり・新幹線 調査特別委員会	6月13日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○（出席） ×（欠席） —（出席対象外）

― 大谷 敏弥 議員 ―

ホタテブランド湾宝について

（町長） 長万部漁業協同組合と更なるブランド化へ
つなげる事業を考えていく

大谷 令和元年より5
か年計画で開始した、ア
イヌ政策推進交付金事業
のホタテブランド湾宝。

これまでいろいろなイベ
ントやテレビ公開など、
大変盛り上がり盛況だっ
たが、この事業も今年度
の期限となる。

そこで、次の点につい
て伺う。

1点目。ホタテブラン
ド湾宝を使つてのブラン
ド商品開発の進捗状況は。
2点目。ホタテブラン
ド湾宝の今後の取り組み
としてどのような事業を
展開していくのか。

町長 1点目は、現在
もいろいろな商品を地元
水産加工会社も含め、食

品会社数社と共同開発し
ている最中である。

開発が完了している商
品の中で冷凍品では、特
別な製法で加工し冷凍し
た「ボイルホタテ」をは
じめ、ホタテ稚貝を急速

冷凍し、スチール製缶容
器に入れ、ご家庭やアウ
トドア等で手軽に調理を
可能とした「ガンガン焼
き」やレトルト食品の

ラーメン、カレー、お菓
子など複数の商品が完成
している。その中でも長
万部漁協女性部が企画考
案した「湾宝すり身汁」

は、イベントでも大変好
評で、商品化に向けた試
作を進めている。

現在も、食品を取り扱

う複数の企業等から「湾
宝」を使用した商品開発
を希望する提案があり、
本年度内の完成に向け、
長万部漁業協同組合、委
託会社と連携を取りなが
ら進めている。

2点目については、当
町におけるホタテ貝養殖
漁業が始まって約50年以
上が経過し、漁業者はこ
れまで数々の大変な苦勞
を経験し、晴れてブラン
ド化として全国、世界へ
自慢できるホタテ貝を生
産している。

近年は、気候変動によ
る海洋環境の変化や予期
せぬ災害で漁業を取り巻
く環境は、今後も厳しい
状況が予想されており、

当町でホタテ貝の生産が
恒久的に続くよう、長万
部漁業協同組合とさらな
るブランド化へつなげる
事業を考えていく。

大谷 1点目、2点目
のような事柄に、更なる
発展を目指し、湾宝のブ
ランド商品を開発し、メ
ディアにも力を入れて宣
伝をし、特にテレビの宣
伝による報道は、やはり
知名度が大きいと思うの
で、その

ような企
画も考え
てはどう
か。

町長 今、5年
目のさま
ざまな取
り組みを
計画して
いる。漁
組から報
告を受け
ているが、
すでに来



札幌ファクトリーで開催されたイベントの様子

年の2月24、25日に札幌
ファクトリーでイベント
を2日間やってほしいと
いう連絡があった。

漁組からも、今年は札
幌ファクトリーで1日限
りだったが、盛況だった
ので、2日間開催をして
ほしいという話があり、
それが決定すると2日間
でのイベント行事になる
と思う。